



理念

みんなが笑顔な世界へ

おいしいものを食べて笑顔。

飲みやすい薬で笑顔。

安全な水や食べ物で笑顔。

所在地: 厚木市恩名 5-1-1
代表者: 池崎 秀和
業種: 分析機器製造業 (味覚センサー)
創業年: 2002 年
計画承認年月: 令和 6 年 2 月
資本金: 10,000 万円
従業員数: 36 人 (令和 8 年 5 月時点)

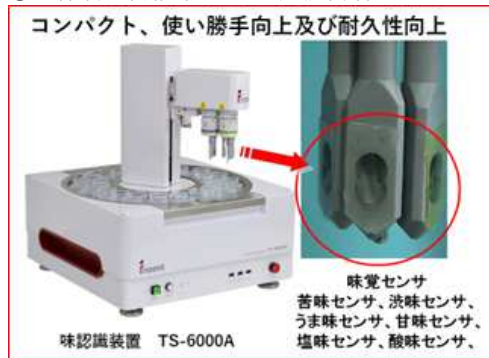
1. 取り組んだきっかけ

当社は、九州大学との共同研究を基に、世界初の味認識装置を実用化した分析機器メーカーです。しかし、うま味センサーの技術的課題による消耗品売上の急減と、外部委託による開発力喪失が顕在化しました。これらの課題を解決するため、総額 3 億円の研究開発投資と専門人材採用を柱とした「経営革新計画」を策定しました。

2. 概要

当社は、協会の保証枠や公的融資を活用することで、総額 3 億円規模の投資を行い、以下の取組を推進しました。

- ① センサー再開発: 高濃度試料を正確に測定できる新センサー膜を開発し、2023年にリリース。
- ② 装置内製化: 技術者を採用し、設計を内製化。2023年に新機種をリリース ※
- ③ 体制の再構築: 研究員と技術者を採用により、研究から製造までの全工程を自社完結できる体制を確立。



旧機種からの劇的な進化と導入効果

	旧機種	TS-6000A
操作性	特定の熟練者しか扱えない	直感的な操作で誰でも正確に測定可能
動作音	動作音が気になる	動作音がとても静か
解析プロセス	手間がかかる	スムーズで簡単、履歴管理も容易

“ 「買い替えて本当に正解だった。
社内で機械を使える人材が増え、使用頻度も向上した。」 ”

※ 新機種リリース後のお客様の声

3. 取り組んでよかったこと

新機種は「直感的で、しかも正確」と高い評価を獲得。これが海外展開の追い風となりました。輸出先は中国依存から東南アジアや韓国へ多角化が進みました。経営面では令和 6 年・7 年間に 2 期連続営業黒字を達成し、売上増・原価率改善・営業 CF の大幅プラスを実現しました。現在は 36 名体制となり、顧客の声を即座に製品改良へ反映可能になりました。

4. 事業者 PR

当社は平成 14 年にアンリツ株式会社からスピンアウトし、独立経営を貫いてきました。「本当に役に立つから事業をする」を理念に、顧客と直接つながりながらものづくりを進めています。

今後は、以下の取組を中心に進めていきたいと思っています。

- ① 食の多様化対応: 味覚センサーで各市場・世代に合わせた商品開発を支援します。
 - ② 医薬分野の貢献: 小児医薬品の苦味マスキングに向け、データベースを構築・公開し、世界中の開発基盤を目指します。
 - ③ 用途特化型機種の展開: コーヒーなど特化型装置を低価格・高性能で開発し、グローバル展開を行います。
- 経営革新計画の承認は、資金確保の決め手であると同時に、自社の進むべき方向を社内外に示す羅針盤となりました。今後も「味のものさし」で社会に貢献し、社員の幸せと着実な成長を目指します。

5. 支援機関等

厚木市商工会議所、神奈川県信用保証協会、商工中金、日本政策金融公庫、公益財団法人神奈川産業振興センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構